

# 2017 AUTOBACS SUPER GT



RACE REPORT

#111

エヴァRT初号機

Rn-s AMG

GT

## SUPER GT Rd. 8 MOTEGI GT GRAND FINAL

11月11日・11月12日 ツインリンクもてぎ(1周 4.801379km)

入場者数：予選 19,500名 決勝 36,000名 合計 55,500名

11月11日(土)予選 天候：晴れ コース状況：ドライ

予選Q1 ポジション：17位(1'48.362) Driver：石川

11月12日(日)決勝 天候：晴れ コース状況：ドライ

決勝 ポジション：23位(Best Lap 1'51.286)



2017年SUPER GTシリーズ最終戦「MOTEGI GRAND FINAL」がツインリンクもてぎにて開催された。最終戦決勝となる12日は晴天の下、大勢のファンの見守る中2017年シリーズを締めくくる事となる。熾烈なチャンピオン争いが繰り広げられる中、エヴァRT初号機 Rn-s AMG GTもチーム一丸で最終戦に挑んだ。

タイRd.不参加だった当チームは約2か月の間をおいてのSGTとなった。最終戦もてぎは全車ウエイトハンディなしのガチンコ勝負となり、熱いバトルが予想された。

11月11日午前に行われた公式練習では、なかなか思うような手応えが得られずセッティングを変更しながら1'49.820でクラス27番手タイムで公式練習を終える。

午後から行われた予選Q1は、石川が担当。1'48.362をマークし予選17番手で終える。

11月12日大勢の観客の見守る中、行われた最終戦決勝のスタートドライバーは石川選手が務める。今期最後のレース、1つでもポジションアップをはかる果敢なはしりで締めくりたい。そんな思いを胸に石川選手がスターティンググリットについた。

いよいよ53周250kmのレースがスタートする。500クラスではフォーメーションラップで接触がありどんなレース展開が待ち受けるのかわからない、最終戦らしい白熱バトルのスタートがきられた。

スタートの石川選手はペースが上がらず辛い走りに耐え、29周を走り終え30周目で山下選手に最後のステアリングを託した。

タイヤ無交換、給油のみで山下選手はピットをあとにする。山下選手も同じく、耐えの走りでゴールまでマシンを運ぶ。48周をはしり終え、チェッカーを受ける。

ゴール後マシンを降りてきた山下選手の顔には、悔しさが滲み出る。クラス23番手、3ポイント獲得という形でSGT最終戦もてぎRd.を終えた。

悔しさの残る、最終戦となりましたが今シーズンの締めくりとしてポイントの取りこぼしもなく戦えました。

今シーズンQ2進出2回、ベストリザルト13位。



2017 年SGTシリーズ、皆様のおかげで無事に終わることが出来ました。応援ありがとうございました！！



#### ■監督:植田正幸

今回は厳しかった！！が感想ですね。FPからタイヤがマッチしなくて、特にFタイヤ厳しかったです。セット変更をしても改善されなくて、厳しい戦いが予想されました。チームとしては、チームポイント3を取りに行く作戦で、硬めのタイヤ選択でノー交換を決定しました。予選はハード系でしたが石川が頑張ってくれて17番手、Q2には届きませんでした。頑張ってくれました。

決勝 石川～山下で行きましたが、路温なのか路面状況の変化なのかペースが全然上がりませんでした。

山下にはタイヤ無交換で行かせましたが、やはり厳しかったですね。今回はドライバー2人には厳しい中頑張ってもらいました。チームポイントもしっかり3を取る事ができました。

最後に今シーズンも熱い応援ありがとうございました。成績はまだまだでしたがスポンサー様、ファンの皆様のおかげで無事にシーズンを戦う事ができました。ありがとうございました。 RN Sports 植田

#### ■ドライバー:石川京侍

今回はフリー走行から厳しい感じでした。フリー走行中にセットアップしていきましたが、少しは良くなっていきましたが、完全には改善されない感じでした。予選は決勝の事を考え、タイヤを固めのタイヤを選択してQ1を担当しましたが、想定よりはタイムが上がりましたが、17番手タイムでした。決勝もスタートからペースが上がりず苦しい展開になりましたが、しっかりチームポイントを取る事ができたので良かったです。

今シーズンも応援ありがとうございました！

石川京侍

#### ■ドライバー:山下亮生

今回は兎に角、厳しいレースでした。公式練習からペースが悪く、予選は石川選手のアタックで良いタイムが出たのですが、決勝日になると再びペースが落ちてしまいました。最終戦なので悔いの無いレースをしようと臨みましたが、タイヤを劣りながら我慢の走りしか出来ず、終わってみれば17位スタートから23位チェッカーと、非常に悔しい結果となりました。チームポイントを獲得出来た事が唯一良かった事でした。

ファンの皆様には今シーズン最後まで熱い応援を頂きました。1年間本当にありがとうございました。 山下亮生

